

おとずれ

2022年 3月475号

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

四旬節を生きる

千葉俊一神父

四旬節のテーマは言うまでもなく回心です。回心とは今までの生き方(生活の仕方)の結果としての成果をさらに上げる決意をする(「もっとガンバロウ!」)ということではありません。キリストの弟子として今までの生き方でよいのかと自問し、もし「違うな・・・」と気づけたのであればそれを変えることです。皆さんも経験からわかることですが、それは容易なことではありません。今まで通りのやり方でガンバル方がはるかに楽なのです。回心は人間の力のみでできることではありません。聖霊の働きによって始めて可能となります。わたしたちは自分のガンバリで聖霊を拒んでしまうのではなく、握りしめているその両の手を開き霊のささやきに耳を傾けねばなりません。

このことは個々人のみならず人間の諸集団についても言えることです。一昨年来続いているコロナ・パンデミックの渦中にあり、人類はこのまま衰退していくのではないかという悲観論もある中で、それでも諸国家は軍備増強による戦争の準備に余念がありません。人間は一体どこまで愚かなのでしょうか。常に悪のみを求める人間を創ったことを後悔し彼らを消し去るべく大洪水を起こした後、主なる神は御心に言われます。「人に対して大地を呪うことは二度とすまい。人が心に思うことは、幼いときから悪いのだ。わたしは、この度したように生き物をことごとく打つことは、二度とすまい」(創世記8章21節)。どうしようもなく愚かでダメな人類にとことんつきあう覚悟をしておられる創造主である神への信頼をキリストにおいて新たにし、この四旬節を生きていきましょう。

GRAZIE MILLE ! Suor Maria! シスター マリア コスタ 追悼

去る1月6日、サレジアンシスターズ シスター マリア コスタが帰天されました。

富士吉田教会の信徒のみならず、小さき花幼稚園の父兄や富士吉田市の方々への料理教室、イタリア語教室、富士五湖ダルクへの支援と幅広く活動されたシスター。多くの方々の心の中に、あのイタリアのマンマさながらの笑顔を残し、旅立たれました。様々な方々からのメッセージです。

★目に浮かぶのはマリア先生の笑顔、瞳の輝き、綺麗な歌声、白い歯、そしてあの豪快で愉快的な笑い声。”罪とは？”と伺ったら、”愛が足りないこと”とイタリア語の教室でおっしゃった時の笑顔。イタリア語、お祈り、ダンテの詩、歌、お料理、いろいろ教えていただきありがとうございました。私共は先生と幸せな時を過ごさせていただきました。

「イタリア語教室“Le Stelle di Maria”のメンバーより」

★ご高齢にも関わらずパワフルに働かれたシスター。病気が治った時に『神様はまだ働かせる!!』と笑いながら話していたのを思い出します。どんな時も神様に真っ直ぐに従われたシスター、やっと神様の元でゆっくり休めますね。

「星美学園短期大学の教え子 曾根美香さん」

★シスター コスタは良くしてくれたかたです。覚えています。そうだったんですか、寂しいですね。ご冥福をみんなでミーティングの時にお祈りします。「富士五湖ダルク施設長 篠原 孝夫さん」



本場のイタリア料理をコーチするコスタさん

1928年5月10日 イタリア コリヤーノ・ド・トラントで誕生
1953年8月6日 イタリア ウェッラ・イノポリで誓願宣立
1955年11月7日 来日
2022年1月6日 調布で帰天（修道生活68年）

☆ ☆
本場スパゲティ講習会
富士吉田市下吉田コミュニティセンターで二十六日、イタリア料理の講習会があり、二十五人の



Sr.Costa Maria
シスター コスタ・マリア

主婦らが、本場の味作りを学んだ。講師は、東京・赤羽の星美短大講師のシスター・マリア・コスタさん。作った料理は、スパゲティ・ア・ラ・ナポレターナ。ゆでたスパゲティに牛肉主体のソースをかけるだけだが、出来上がりを試食した人たちは一様に「ひと味違う」と舌鼓。そのコツをコスタさんは「月桂樹、ローズマリー、バシリコといった香辛料を使い、自然の味をひきたらせる。化学調味料やベタつくケチャップ類は使わ

ない。そして、スパゲティはゆがきたての熱いうちに食べる」と説明。受講した主婦たちは「簡単なようで気付かなかった料理のコツがよくわかりました。これから講習会を続けてほしい」と、大好評だった。

昭和五十五年（一九八〇年）

九月二十七日

山梨讀賣新聞より

2021年度決算報告

2021年度の富士吉田教会の決算概要についてご報告いたします。

まず信徒数ですが、323名（男性：127名、女性：196名）と前年より3名の減となっております。

収入においては、月定献金および修繕積立金は信徒の皆様のご協力により当初予算をほぼ達成する状況となったものの、ミサ献金はコロナの影響によるミサの中止等もあり予算額を大幅に下回り、収入全体では予算に対して約13%の減となりました。

一方支出では、予算額まで使われなかった科目が多くある反面、ミサ祭儀備品の購入や自動車諸経費等で予算額を上回る支出もありました。支出額全体としては教会行事などが行なわれなかったことや大きな修繕や工事が無かったこともあり、予算額に対して約17%支出額が少ない形となりました。

全体の経常収入から経常支出を差し引くと2021年度は黒字となりましたが、収入額はコロナ前の2019年度と比べるとかなり落ち込んでいます。また売電によって賄われていた光熱水費も今後は売電価格の減少が見込まれます。

月定献金やミサ献金は教区全体の運営や司祭給与分担金にも影響してきます。色々と大変な状況下であるとは思いますが、信徒の皆様には引き続きご協力いただきますようお願いするとともに、特にミサ献金についてはこれまで以上の積極的なご協力をお願い申し上げます。

（財務担当：渡辺幹雄）

*詳細は、次回教会委員会にて報告させていただきます。

教会委員会記録

1. 2月6日教会委員会中止
2. 東日本被災地支援講演会と物産販売会中止となりリモート講演会になりました。

お知らせ

◎オミクロン株の感染急拡大を受け、2月27日（日）まで、ミサは中止となりました。この間日曜日の9時から16時まで聖堂にご聖体が顕示されました。

◎東日本被災地支援講演会「福島をわすれない」について

カリタス南相馬の所長南原摩利さんを招いた講演会は感染防止の為に中止となり、リモート講演会となりました。

- ・日時：2022年 3月5日（土） 13：30～15：00 予定
- ・リモート講演会を希望の方はメールアドレスを前日までには山本までお知らせください。

（山本メール：paulo_ky@yahoo.co.jp）

- ・物産販売の注文締め切りは3月27日までになりました。

こ よ み



3月

- 2日(水) 灰の水曜日 ミサ 10:00 ※四旬節愛の献金(期間中)
- 5日(土) 東日本被災地支援リモート講演会/13:30～
- 6日(日) 四旬節第1主日 ミサ 9:30 **教会委員会** /2021年度会計報告
- 12日(土) 小さき花幼稚園卒園式
- 13日(日) 四旬節第2主日 ミサ 9:30 子供と共に捧げるミサ・日曜学校
(聖堂掃除は日曜学校・有志)
- 20日(日) 四旬節第3主日 ミサ 9:30 黙想会・ゆるしの秘跡・日曜学校卒業式
(聖堂掃除は吉田地区・河口湖地区)
- 25日(金) 神のお告げ(祭日)
- 27日(日) 四旬節第4主日 ミサ 9:30
(聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)

※四旬節中、ミサの前に十字架の道行きを9:00より行います。

イタリア語教室(月曜10時): 7日・14日・28日

日曜学校(ミサ後): 20日・27日

4月

- 3日(日) 四旬節第5主日 ミサ 9:30 **教会委員会**
- 10日(日) 受難の主日(枝の主日) ミサ 9:30
- 14日(木) 聖木曜日(主の晩餐) 18:30
- 15日(金) 聖金曜日(主の受難) 18:30
- 16日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭) 18:30
- 17日(日) 復活の主日 ミサ 9:30
- 24日(日) 復活の第2主日 ミサ 9:30

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。

変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします

3月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	検温
6	江守香代子	-	-	福永好雄	宮本禮子	志村
13	大野 隆	-	-	小山田匡宏	曾根美香	江守
20	山本一孝	-	-	宮本二郎	相澤千代子	宮本
27	東海林義夫	-	-	渡辺幹雄	小松二三子	志村